

平成30年度 行政評価表:伊万里湾総合開発・国道対策課

【Plan】計画 / 【Do】実施																				【Check】評価 / 【Action】改善										
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)						H29年度		H30年度		事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)				
			H29年度			H30年度			H29年度			H30年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	事業評価	1次評価(担当者評価)		2次評価						
			指標	単位	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	指標	単位								目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由	R2年度予算要求の方向性	所属長評価		
貿易の振興	伊万里港ポートセールス推進事業	佐賀県伊万里港振興会を推進母体として、官民一体となって国内外の荷主・船社に対し、集荷、航路誘致の両面から伊万里港のPRを行い、利用を働きかける。	荷主、船社へのポートセールスの回数	社	70	149	213%	70	72	103%	取扱い貨物数(実入りコンテナ)	TEU	35,000	36,700	105%	35,000	37,346	107%	5,959	6,138	4,894	低	実入りコンテナの取扱量は、H28年から3年連続で過去最高を記録し、現状の施設能力では大幅な増加は望めるものではないが、北部九州の物流拠点港としての重要度は増しており、今後、施設能力の向上を図れば、取扱貨物量の増加が望める。	なし	現状の予算は、主に集荷活動とポートセールスを実施する佐賀県伊万里港振興会への負担金と、輸出入の増加を意図したコンテナ貨物助成負担金であり、これ以上の削減余地はない。	維持	港間における貨物獲得競争は激化しており、ポートセールスや集荷活動を行わなければ、伊万里港で利用されている貨物が直ちに他港に移ることになるため、いまま上のポートセールス等が必要である。	前年度並みの経費を要求する。	維持	伊万里港のポートセールスについては、官民一体での取り組みが功を奏しており、引き続き同様の取り組みを推進していく必要がある。
港湾機能の整備	伊万里湾開発総務事業	伊万里港の振興を図るためには、大型船が接岸できる公共埠頭の整備等、利便性のある港湾施設の整備が必要である。このため、佐賀県港湾協会や日本港湾協会等を一体とした港湾整備促進のため関係機関との協議を行うとともに、提案・要望活動を行う。	国土交通省等への提案活動	回	3	3	100%	3	3	100%	取扱い貨物数(実入りコンテナ)	TEU	35,000	36,700	105%	35,000	37,346	107%	819	1,305	1,239	低	実入りコンテナの取扱量は、H28年から3年連続で過去最高を記録し、現状の施設能力では大幅な増加は望めるものではないが、北部九州の物流拠点港としての重要度は増しており、今後、施設能力の向上を図れば、取扱貨物量の増加が望める。	なし	主な経費は、一体となった要望活動を行う加盟する関係団体への負担金と、活動に伴う旅費であり、これ以上の削減余地はない。	維持	関係団体と一体となった要望・提案活動を行うことにより、伊万里港の振興が図られるため、活動を維持する必要がある。	前年度並みの経費を要求する。	維持	港湾分野の政策推進については、全国の関係団体と連携しては伊万里港の振興につながる必要がある。
港湾機能の整備	日本海側拠点港形成促進事業	伊万里港は、H23年11月に日本海側拠点港(国際コンテナ拠点港)として選定されており、今後さらにコンテナ貨物の取扱量を伸ばすよう地域の取り組みが求められている。このため、国や県に対し、市内関係団体や企業と連携して官民一体となった要望・提案活動を行う。	国土交通省等への提案活動	回	3	3	100%	3	3	100%	取扱い貨物数(実入りコンテナ)	TEU	35,000	36,700	105%	35,000	37,346	107%	143	161	126	低	実入りコンテナの取扱量は、H28年から3年連続で過去最高を記録し、現状の施設能力では大幅な増加は望めるものではないが、北部九州の物流拠点港としての重要度は増しており、今後、施設能力の向上を図れば、取扱貨物量の増加が望める。	なし	主な経費は、一体となった要望活動を行う加盟する関係団体への負担金と、活動に伴う旅費であり、これ以上の削減余地はない。	維持	関係団体と一体となった要望・提案活動を行うことにより、伊万里港の振興が図られるため、活動を維持する必要がある。	前年度並みの経費を要求する。	維持	伊万里港の整備等に関しては、国等への熱心な提案活動が必要である。
道路・交通体系の整備	国道整備促進事業	国道204号や国道498号など、市内主要幹線道路の円滑な整備促進を図るため、地元や関係機関との調整を行うとともに、沿線の市町で構成される広域的な整備促進団体による提案・要望活動等を行う。	要望箇所数	箇所	4	4	100%	4	4	100%	事業実施箇所数	箇所	4	2	50%	4	2	50%	350	603	491	低	国道の整備については、事業費が多額になり、また事業期間についても長期にわたり実施されるため、要望をしたからといってすぐに整備が開始されるとは限らないが、継続的な要望活動は必要である。	なし	支出した経費は、要望に必要な最小限の活動費に対する負担金が主であり、これ以上のコスト削減余地はない。	維持	関係団体と一体となった要望活動を継続的に実施することが極めて重要であるため。	前年度並みの経費を要求する。	維持	国道の整備等に関しては、国や県等への熱心な提案活動が必要である。
道路・交通体系の整備	西九州自動車道整備促進事業	西九州自動車道の建設促進を図るため、福岡・佐賀・長崎の沿線12市町で構成される期成会や市内の地元区長等で組織される協議会等による要望・提案活動を行う。	国土交通省等への提案活動	回	3	3	100%	3	4	133%	西九州自動車道の供用距離(全線)	km	113	113	100%	115	115	100%	2,209	1,029	990	低	国道の整備については、事業費が多額になり、また事業期間についても長期にわたり実施されるため、要望をしたからといってすぐに整備が開始されるとは限らないが、継続的な要望活動は必要である。	なし	支出した経費は、要望・提案活動に必要な最小限の旅費が主であり、これ以上のコスト削減余地はない。	維持	関係団体と一体となった要望活動を継続的に実施することが極めて重要であるため。	前年度並みの経費を要求する。	維持	西九州自動車道の整備促進に関しては、国等への熱心な提案活動が必要である。